

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

2月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

2022年度緩和ケア研修会を開催しました

令和4年11月27日(日)に第2回目となる緩和ケア研修会を開催しました。今回はファシリテーターとして熊本赤十字病院 血液内科の采田志麻先生、荒尾市民病院 外科の佐藤伸隆先生をお招きし、当センターからも緩和ケア内科医の堀、外科医の織田、社会福祉士の福島がファシリテーターとして参加しました。

今回は外部からも2名の医師と2名の看護師、1名の薬剤師の参加があり当院からの参加者と合わせて18名が研修を修了しました。

この研修会は2007年のがん対策推進基本計画で「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得する」ことが目標として掲げられ、「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」に基づき開催されています。がん等の診療に携わる全ての医師・歯科医師・緩和ケアに関わる医療従事者の方を対象に参加者には事前にe-learningで緩和ケアに関する基本的な知識を習



得していただき、研修会ではグループにわかれて架空の症例について疼痛コントロールや在宅支援についてディスカッションをしていただきました。今回は医師、看護師以外にも薬剤師や社会福祉士、リハビリスタッフなどといった多様な職種の方が参加され色々な視点から様々な意見やアイデアを出していただき患者さまに寄り添ったケアを考えていただきました。

またロールプレイでは患者さまに根治できない癌であることを告知するという設定で全ての参加者に医師役、患者役をそれぞれ体験してもらい告知の難しさや患者さんの気持ちに配慮した声掛けや沈黙の使い方を実践していただきました。

コロナ感染症の状況次第ではありますが今後も院外から広く参加いただき、鹿本圏域のがん診療のレベルアップに繋がればと思います。当研修会は毎年定期的で開催していきたいと思っておりますので、皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

(文責：外科医長 織田 枝里)



基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

緩和ケア研修会を開催しました…………… P 1
 令和4年度開放型病院運営協議会総会／
 地域医療連携室…………… P 2
 医療最前線・第52回公開特別講演会のご案内… P 3
 外来担当医表(2月)…………… P 4

令和4年度 山鹿市民医療センター開放型病院運営協議会総会開催

令和4年12月9日（金）ゆとりろ山鹿において、令和4年度山鹿市民医療センター開放型病院運営協議会総会を開催しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの開催となりましたが、鹿本医師会の先生を始め、山鹿市歯科医師会、山鹿地区薬剤師会の先生方、多くの関係者を含め約70名の皆様にご参加いただきました。

当日は総会に先立ち、本年度3回目の地域医療支援病院運営委員会及び開放型病院運営協議会を開催し、医療連携に関する実績が報告されました。

総会では、開会に当たり、別府病院事業管理者から、日頃の皆様からのご支援とご協力に対するお礼とともに現在の当センターの状況を知っていただき今後の地域連携に繋げていければとの発言がありました。引き続き、開放型病院運営協議会会長である幸村克典鹿本医師会会長からご挨拶をいただきました。

その後議事に入り、議長の鹿本医師会副会長の宮崎隆一先生と別府事業管理者の進行により、高木院長が医療連携に係る実績報告として「登録医師・医療機関数」、「紹介率及び逆紹介率」、「大型機器共同利用」、「くまもとメディカルネットワーク(KMN)の同意取得件数」などの状況について報告し、「地域医療支援病院の要件である紹介率・逆紹介率はコロナ陽性患者の受入れにより減少傾向にあるが、今後は基準を満たす値まで回復する見込みであるので、これまで以上に地域の先生方からのご支援とご協力



により地域医療支援病院としての承認要件を満たしていきたい。」と述べ、これを受けて幸村会長からは「鹿本医療圏は、三師会、市民医療センター、県・市の行政が一体となって進めて行くことが重要であり、KMNについては、お薬情報共有の面からも是非薬剤師の先生方にも加入していただきたい。」とのお言葉をいただきました。

意見交換会に続き、当センターから出席した医師10名が自己紹介を行うとともに、出席いただいた地域の先生方に対して日頃のお礼や今後のご支援とご協力をお願いしました。

総会終了後は、大庭副院長、本原医師、別府事業管理者が「新型コロナ診療の3年間」、「当院における消化器内科のすべて」、「山鹿市民医療センターの外科について」と題し、当センターの現状について講演を行いました。

今回は、感染対策を考慮し懇談会の開催は見送らせていただきましたが、日頃お会いする機会の少ない三師会会員の先生方との意見交換によって有意義な総会となりました。

ご多用のところ、ご出席を賜りました先生を始め医療関係者の皆様には誠にありがとうございました。今後とも引き続き地域医療支援病院として地域の先生方との連携を密にし、本会及び地域医療の発展に尽力してまいりますので、一層のご支援とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

(文責：地域医療連携室 深水 聖子)



原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用下さい。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

医療最前線 (145)



最高で最大の責任をまとう言霊、“異常なし”!!

消化器内科長

本原 利彦

私は2016年、熊本地震が起きる数日前に山鹿に赴任し、7回目の年越しを迎えました。この原稿も何度か執筆させていただき、トピックも数ヶ月考えましたが思いつきませんので、日常考えることを徒然なるままに書き留めていこうと思います。

私が若かりし時、他院勤務時に腹部エコー当番をやっていました。『C型肝炎治療後15年目のfollow』などのオーダーを見たときに、果たして何年追いかけるのかと疑問に思ったことがあります。しかし、自分が外来をするようになると、治療後数年後に肝臓癌が見つかる患者さんも1人や2人ではなく、今では自分も数年経過してもfollowしています。

膵臓のIPMNが、造影CTとMRCPでは嚢胞性病変に見えても、超音波内視鏡をしてみると、IPMNのすぐ横に腫瘍性病変を認めることもあります。進行癌で紹介頂いた患者さんが、定期的に病院受診していたのになぜここまで進行するまでわからなかったのかと質問される患者さんもいます。エコー、CT、MRIは長所と短所があります。1つのモダリティに固執せず、時に広く、時に精密な検査でfollowす

る、メリハリも重要です。

豊永前事業管理者が退職され、今年度から私も検診胃カメラを担当しています。外来患者さんにも共通しますが、『異常なし』と診断することは非常に慎重になります。症状があれば再診されますが、検査異常のみの患者さんは、“異常がない”と診断されればしばらく医療機関を受診されない患者さんがほとんどです。異常がない事は患者さんにとっては最善の結果です。そう診断することで患者さんが安心するのは医師冥利に尽きます。しかし、異常を見落とし、異常がないと伝えれば、その患者さんの予後を大きく変えかねません。

一般論ですが、検査回数は1回より2回、検査施行医は1人より2人で確認すればより正診率は高まります。異常なしは最高の言葉であり、最大に責任のある言葉でもあると思います。異常がなくても定期健診の必要性を付け加えることは常々、意識して説明しています。

2023年1月から、当院内視鏡システムもEVIS X1を導入しました。『道具も実力のうち』当院別府事業管理者がいつかの講演会で話していましたが、内視鏡はパワーアップします。何かありましたらご相談頂けると幸いです。

まだまだ、完全収束が見えない新型コロナウイルスの猛威を、“Team 山鹿”で乗り越え今年こそ平穏を取り戻しましょう!!

第52回公開特別講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名
79.気管支喘息・COPD

下記により第52回公開特別講演会を開催いたします。
多数ご参加くださいますよう御案内申し上げます。

鹿本医師会会長 幸村 克典
山鹿市病院事業管理者 別府 透

記

日時: 令和5年2月10日(金) 19:00~
形式: ハイブリッド方式(オンライン参加or会場参加)
会場: オンライン参加 / Zoomミーティング
会場参加 / 山鹿市民医療センター1階医療研修センター
演題: 「もしも喘息と言われたら - 令和の喘息診療 -」
司会: 山鹿市民医療センター 病院事業管理者 別府 透 先生
演者: 熊本大学大学院 生命科学研究部 呼吸器内科学講座 坂上 拓郎 教授
参加費: 無料

【参加要領】 下記参加URL、又は参加QRコードから御参加ください。

(参加URL) : <https://zoom.us/j/944448754417>

(参加QRコード) ⇒



ミーティング ID : 944 4875 4417

パスコード : 833322

※ミーティングに参加される際の【名前】欄には、必ず「氏名」と「医療機関名」を御入力ください。
※快適に御視聴いただくため、イヤホンやヘッドセットの御使用をお勧めいたします。

お問い合わせ先 📍 山鹿市民医療センター

地域医療連携室 宮園、深水

TEL:0968-44-2185(内線769) FAX:0968-44-0071

※共催: 鹿本医師会

山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会

外来担当医表

2月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※御任 玲美	※猪山 慎治	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	上野 茂紀 (本原 利彦)	富口 純	本原 利彦	富口 純 (上野 茂紀)	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※小國 哲也 担当医 (予約のみ)	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	高木 茂 横田 秀峰 山元雅典/中原達秀	工藤 智志 山元 雅典 中原 達秀	手術 (担当医)	高木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 (織田 枝里)	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 山村 謙介
乳腺外科	—	※富口 麻衣	—	—	—
泌尿器科	—	非常勤医師	—	*非常勤医師 神波 大己 教授 (第1・3・5)	—
小児科	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)	※石井 真美 9:00~16:30まで 予防接種(午後)	※石井 真美	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)
セ ン タ ー 感 覚 器	耳鼻咽喉科	—	非常勤医師	非常勤医師	—
	眼科	木山 優	木山 優	木山 優	木山 優
産婦人科	※片淵美和子 (午後)	※片淵美和子 (午後)	—	非常勤医師 *片淵美和子(午後)	非常勤医師
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	—
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	吉岡 明子 消化器内科医	外科医(午前) 担当医(午後)
健診	坂田 和子 石河 隆敏	川崎 修二	堀 和樹	—	佐々木 剛

◎診療時間は8:30開始で11:00(小児科は16:00)受付終了となります。
 当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。
 ※ 非常勤医師です。 * 第2、第4のみ診療となります。

特殊・専門外来

2月

名称	担当医等	実施日	診察場所
外来化学療法(予約制)	担当医 宮本 英明	毎週 火曜・水曜 毎週 金曜 (がん薬物療法専門医)	各診療科
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜 (午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜 (午後)	
小児科予防接種	※石井 真美	毎週 水曜 (受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜 (午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※片淵美和子	2/6(月)、7(火)、9(木)、13(月)、14(火)、20(月)、21(火)、27(月)	
PEG外来	担当医	毎月 第2水曜 (午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日 (13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。
 ◎急患の場合は、この限りではありません。
 ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。
 ◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
 TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>